

マルタニシ

Cipangopaludina chinensis laeta

タニシ科



タニシの仲間

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ

名前の由来

丸いタニシの意だと思われる。タニシは田にすむ巻き貝の意。ニシは巻き貝、またはサナギのことだという。

漢字名：丸田螺

特定種

国レッドリスト（2007）：準絶滅危惧（NT）

形態的特徴

卵円形の巻き貝。全体的に丸みがあり、殻は薄く、色彩は緑黒褐色、ふたは黄褐色で内側はなめらか。殻高60mm、殻径44mmになる。殻のら層は6層で、著しくふくらむので縫

合は深い。

類似種：オオタニシ。

オオタニシは大型で細長く、ら層は7層。やや角張る。

生息環境・分布

比較的海に近い平野部の水田、池沼、潟、用水路などに多く生息する。

環境省・国交省水質調査：タニシの仲間は「きたない水」の指標生物。

分布：国外分布は、不明。国内では、全国の池沼・田で普通に分布。

北海道内では、普通に分布。

十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

底泥や水生植物に付着する微少藻類や有機堆積物を摂食する雑食性。

水鳥類の重要な餌となる。

繁殖生態・寿命

不明。

興味深い話

■冬期は乾田のくぼみの中などで乾燥に耐える。

■食用にもなるがジストマの中間宿主となる。書、陶芸、絵、料理など多くの分野で天才的な才能を持つ北大路魯山人の死因がタニシ由来のジストマであったことは有名である。食すときは熱を良く通す必要がある。

■福岡の料理に「せんぶぎまげ」がある。ワケギ（＝せんぶぎ）とタニシをゆで、酢みそをつけて食べるもので、桃の節句の料理に用いられるという。

■田螺（タニシ）は俳句の季題としては春とされる。高浜虚子に「籠をもる小さき田螺や水に落つ」という句がある。

配慮事項

農薬などによる水質汚濁や用水路の改修などで、その生息数は減少している。生息場所の水生植物が重要である。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
確認できる時期				■									

参考文献

「川の生物図典」財団法人リバーフロント整備センター 1996
 「標準原色図鑑全集3 貝」波部忠重・小菅貞男 保育社 1991
 「日本の貝」奥谷喬司 小学館 1992
 「図説 魚と貝の大事典」望月賢二 柏書房 1997

「農村の水辺の生き物」のホームページ 農林水産省（財）自然環境研究センター <http://www.denen.maff.go.jp/InterServ/MULTIMEDIA/html/contents/ikimono/intro.html>